

17 公立相馬総合病院

URL : <http://www.bb.soma.or.jp/~psghjim1/>



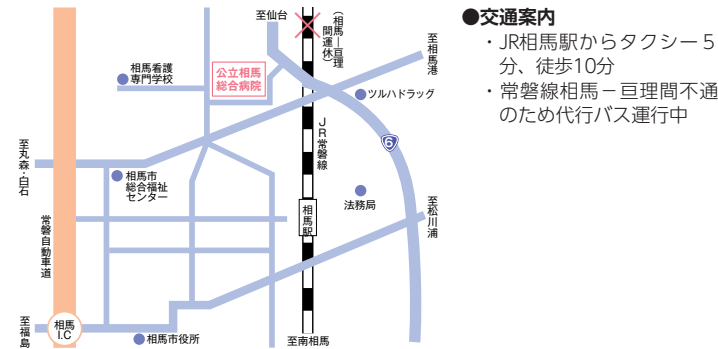
病院の概要

開設者：相馬方衛生組合管理者 相馬市長 立谷 秀清
 病院長：金田 寛之
 所在地：相馬市新沼字坪ヶ迫142番地

- 医師数：常勤…23名、非常勤…9.1名、指導医数…13名
- 診療科名：内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、腎臓・内分泌内科、糖尿病内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、耳鼻いんこう科、形成外科、脳神経外科、心血管外科、眼科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科
- 病床数：一般…230床
- 年間入院患者実数：4,027名
- 年間新外来患者数：14,255名
- 1日平均外来患者数：458.4名
- 年間救急車搬入患者数：856名
- 平均在院日数：13.4日



アクセス



臨床研修病院の理念

医師としての人格をかん養することができる研修を目指し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常の診療において頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付けることができる内容をもった研修を行います。

病院長メッセージ



当院は福島県の太平洋に面した北東端に位置し、仙台・福島の両市まで約55kmの距離にあります。

相馬市は、千年以上続く相馬野馬追祭の伝統を守っている歴史の町です。風光明媚な土地でありましたが、東日本大震災では大きな打撃を受けました。しかし

昨年、常磐自動車道が全線開通し、さらに今年中にJR常磐線が開通するなど、少しずつ復興しています。

当院の最大の特徴は、病院全体として、自分の科というものにとらわれずに新人教育をしようとする、アットホームな雰囲気です。若い医師は、一人ひとり手作りで育てていくべきと職員全員が認識し、取り組んでいます。また、地元医師会との連携がよく取れているのも当地の特徴でしょう。震災の翌朝7：00に医師会の開業医の先生方のほとんどが当院に集結してくれました。相馬市・新地町の避難所回りをし、当院と連絡を取り合いながら、JMAT、DMAT到着までの約1週間、相馬の医療を守ってくれました。あらかじめ取り決めがあったわけではない中、このようなことができたのは、それ以前に作り上げてきた連携の良さの賜物と言って良いと思います。

地域をあげて若者を大事にしていく土地であります。意欲とバイタリティあふれる若者にとって貴重な研修になるものと確信しております。

研修医コメント



現在は公立相馬総合病院で2年目の初期臨床研修医としてお世話になっております。学生の方々も初期臨床研修を行う病院を自由に選べますが、何も制約のない中で決めるとなると中々難しさもあるでしょう。ここでは研修先としての当院のおすすめポイントを紹介したいと思います。

第一に日本の医療の縮図を体験できるということです。日本の医療の特徴として中小規模病院中心で多数の病院が地方まで存在するという点が上げられるかと思えます。実際、日本の病院ベッドの半分は300床以下の病院にあります。当院はその特徴の両方を備えておりますので、現在の日本の医療の中央値に身をかけるという経験をできるかと思えます。

第二にスタッフ間で互いに顔の見える病院であるということです。前述の通り中小規模の病院であるために当院では多くの部門のスタッフの方々も直接顔の見えるかたちで一緒に仕事をさせて頂くことができます。初期研修を行う上で技術的、知識的な研修ももちろん重要ではありますが、今後も様々な病院で働く上では病院という組織でどういった役割があるのかを間近で知ることができるのは働き始めるにあたってとてもプラスになるかと思えます。また医師数も20名程なのでどの科で研修していても他科の先生方に相談しやすい環境です。

どの病院も見てもわからないことばかりかと思えます。ぜひ当院への見学をお待ちしております。

研修プログラムの特徴

医師として必要な消化器内視鏡などの基本的診療技術は、少数精鋭でも豊富な症例数があることで集中的に身に付けさせるようになっている。コミュニケーション能力は医師自体が少ないため、多くの患者と密接に接することになり切磋琢磨される。また研修最初に看護業務を経験させることで、注射の打ち方など基本的な医療人としての技術は習得できる。これらを実行することにより後の医師生活の技術的なストレスがなくなるものとする。

医療は医師だけでは成しえない。そこで当院では研修中パラメディカルローテートを実施し、看護師、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、理学療法士、栄養士などと一緒に働くことで彼らの考え方、役割を理解するようにしている。また、地域医療では、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、開業医などで研修することで医療のすそ野を経験させている。地方病院に足りない高度医療は福島県立医科大学附属病院などの研修にて経験できるようにしている。パラメディカルの心を知り、医療を支

える人たちの活動を知り、また大学病院などの高度医療を知って医療全体を考える力をつけることをこのプログラムは目的としている。大都会で高度医療をこなす病院で研修することは、医療の一部をみているにすぎない。地域医療の問題点、医療のすそ野を知りバランスのとれた医療人になろうではないか。初期研修終了後に第一線医療に戻っても遅くはない。

選択科目の研修期間は約11か月あるので、当院および関連協力病院にて興味のある分野を研修し、医師人生の今後の方向性を考えてもらいたい。

すなわち、第一線の高度医療の担い手になるもよし、地域医療を支えていくもよし、医療官僚になるもよしである。高度医療から介護までの日本の医療体制の真ん中で研修できる当院は自分を磨き、自分の方向性を考える2年間であるとする。とにかく当院にて基本的技術、基本的考え方を身に付けようではないか。

研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急部門		選択必修科目			
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	選択科目											地域

<協力病院・施設 福島県立医科大学附属病院、他 県内13件 県外4件>

研修医の処遇

- 常勤・非常勤の別：常勤
- 研修手当(税込)
 1年次…約520,000円/月
 2年次…約600,000円/月
 賞与…年2回
 宿直・日直手当…1回につき30,000円
- 基本的な勤務時間：(月～金) 8：30～17：15まで
- 休暇
 有給休暇…1年次 15日 2年次 20日
 その他…夏期特別休暇5日、年末年始休暇(12/29～1/3)
- 宿日直：2回程度/月
- 社会保険/労働保険
 福島県市町村共済
- 健康診断：毎年5月に実施
- 医師賠償責任保険：病院：加入 個人：任意
- 宿舍/住居手当：病院にて賃貸住宅手配。上限55,000円まで支給。

募集要項

募集定員：3人

- 必要書類：研修申込書、履歴書、卒業(見込)証明書、成績証明書
- 選考方法：面接及び書類審査
- 募集期間：随時



〒976-0011 福島県相馬市新沼字坪ヶ迫142番地
 公立相馬総合病院 総務課(佐久間)
TEL : 0244-36-5101 FAX : 0244-35-5819
 E-mail : psgh-iji@bb.soma.or.jp



院内勉強会



研修風景①



研修風景②